

アオカミキリは、以前には宝塚市に多産したそうであるが、現在では採集された話を聞かない。また、食樹であるカエデが豊富な箕面公園においても採集記録は非常に少ない。最近の確実な産地としては池田市東山がよく知られているが、ここでも個体数は多いものではないようである。

今回、筆者は前記データのように三草山にて本種を採集した。猪名川町では初めての記録ではないかと思われる。

当日は、晴天で風も少ない採集日和であった。ヒロオビミドリシジミは、すでに発生期を過ぎて痛んでいたが、山道には、時おりオムラサキの新鮮な♂が旋回していた。午後4時頃、下山途中でオムラサキを取りそこねた際に、中型のカミキリが道端のヌルデの葉に止ったものが目に入った。これが前記の個体であった。

本種の飛翔力からみて、遠くから飛来したとは考えられないため、付近に発生木があるものと考えられる。

## シラホシハナムグリの新産地

(兵庫県甲虫相資料・276)

高橋寿郎

兵庫県下におけるシラホシハナムグリ *Protaetia brevitarsis* (Lewis, 1879) については筆者がかつて本誌上に発表させて頂いた (Vol. 16, No. 1, 1988)。その後筆者県下で新たに採集したことが無く記録の方も見られないようである。1992年9月9日クワガタムシの多産で知られている神戸市西区寺谷を蜂谷幸雄氏に案内して頂いた。当日その地で樹液に来ていた本種が蜂谷幸雄氏によって2♂採集された。シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis submarmorea* (Burmeister, 1842) と一緒に樹液に来ていたものである (標本は筆者保管)。このあたりもっと詳しく調べると案外数多く見られるのかもしれない。新しい産地として報告しておく。